

3月11日の礼拝メモ

## 『現実問題に直面した時のイエスの行動』

ヨハネの福音書 6:1～15

そこで、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、  
すわっている人々に分けてやられた。(ヨハネ 6章 11 節)

### 序]

NHK の「プロフェッショナル」の中で、「モチベーションを上げるにはどうすればよいか」という質問があった。答えの一つに「あこがれの人を持てばよい」というものがあった。番組で取り上げられたプロたちに共通していた点は若い時代に素晴らしい師匠、先生に出会っていた。人生のモチベーションを上げるにはどうすればよいか？キリストに出会うことである。聖書からイエスならどうしたか、一つ一つの行動を見て模範とすればよい。

### 本]

#### I 直面した現実問題(5)

男だけで五千人。女性子供を合わせると二万人くらいだと言われる。その人々の腹を満たす圧倒的な必要が生じた。

#### II 現実問題に直面した時の弟子たちの態度

##### ①ピリポ(5～7)

テストされなければならなかったピリポの性格はヨハネ 12:20～22 に見ることが出来る。ギリシャ人がイエスに会いたいと訪ねてきたのに、ピリポは直接イエスの所に行かないでアンデレの所に行っている。どうも彼はイエスと距離を置いていたのではないか。あるいは何らかの不満、わだかまりがあったのかもしれない。イエスは彼を個人的にテストされているが、すぐに 200 デナリという計算をはじき出し、「出来ません」と答えた。

##### ②アンデレ(8,9)

彼はピリポからも、また小さな弁当を持つ少年からも信頼を勝ち取れた人間であった。けれども彼も可能性はゼロではないにせよ、「無理です」と答えた。我らも弟子たちと同じように仕事上のトラブル、学校の課題、人間関係で現実問題に出くわした時、問題の大きさ、自分の現状だけを見てあきらめてしまう。

#### III 現実問題に直面した時のイエスの行動(10,11)

ただ、神に祈られた。「感謝をささげる」という行為を通して、弟子たちの前に、神に目を向け、神に信頼する姿勢を見せられた。弟子たちは自分たちの小さな引き出しを見て何も出来ないと言き、簡単にあきらめた。信仰とは現実逃避ではない。むしろ、現実を確認した上で、それに対応する上からの資源を引き出すものである。信仰とは問題のただ中であって、それを全能者の手に託すことである。

### 結]

キリストは神が我らに示された救い主。神が望まれる人生を送った人間の模範である。我らも彼を信じ、現実問題を乗り越えよう。